

平成30年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	3	岡谷市やまびこ国際スケートセンター	
指定管理者	名称	(株) やまびこスケートの森	指定期間	H28. 4. 1~H33. 3. 31
料金形態	形態	指定管理料	指定管理料	77,136,000 円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施			
施設担当課	スポーツ振興課			

1 施設担当課によるモニタリングの実績

○施設訪問

・施設訪問の頻度

▼より選択

月に数回

・施設訪問の際に行った内容

▼より選択

情報交換、意見交換	○
施設管理状況の確認	○
施設の安全点検（危険箇所の把握等）	○
業務指導、改善要求	○

○事業報告書

・報告書の提出を求めている頻度

▼より選択

日報	月報	四半期報告書	年報（事業報告書）
×	○	×	○

●モニタリングの結果

・モニタリングで把握した課題

- ①管理棟屋根に錆や塗装の剥げている箇所がある。
- ②管理棟外壁に、浮き・クラック箇所がある。
- ③リンク中央部分（テニスコート部分）やリンク回りのアスファルトに傷みがある。
- ④冷凍機エンジンのオーバーホール修繕が必要な時期となっている。（前回H15.16実施、10年に一度オーバーホール修繕が必要。現在平成24年から7台実施済み。）
- ⑤入り口玄関付近に凹凸（レンガの崩れ）箇所あり。
- ⑥危険滑走者や帽子・手袋等の非着用者がいる。
- ⑦場内凍結箇所（リンク内側・連絡地下通路等）への早期対応。
- ⑧利用者増加へ向けた取り組み。

・指定管理者に対して業務指導、改善要求を行った内容

- ①指定管理者による定期的な経過観察。
- ②指定管理者による定期的な経過観察。
- ③指定管理者による定期的な経過観察。
- ④定期点検の実施。
- ⑤修繕を指示。
- ⑥館内放送での注意喚起、リンク内及びリンク外（トレーニングルーム等）から監視の実施。
- ⑦凍結防止剤の散布指示、転倒防止のための敷物の設置。
- ⑧小学生のスケート人口の拡大に向けて検討を指示。

・業務指導、改善要求への対応状況

▼より選択

内容	チェック
指定管理者は、市の指導・監督に従い、速やかに指摘事項を是正・改善した。	○

2 施設担当課としての評価

○ 実績評価

・ 事業報告書各項目の採点 (70点)

事業計画の項目	指定管理者	市の評価	評価に対する事項
基本方針	5	4	基本方針に沿った管理運営がされている。
経費縮減	5	4	燃料費が高騰する中で、電気使用料等の削減できる項目への取り組みがなされている
職員の配置	4	4	リンクの監視員を適正配置し、利用者の安全確保に努められている。
有資格者等の配置	5	5	適正に配置されている。
職員研修の実施	4	5	概ね実施計画に基づいて実施されている。
施設の維持管理	4	5	施設が老朽化している中、安定的な管理運営がされている。
住民の平等利用の確保対策	4	4	利用者へ施設利用に公平性を欠くことのないよう対応している。
サービス向上対策	4	4	ライブカメラ、スケートマスター貸出など工夫を凝らした運営がされている。
利用者の要望の把握及びその実現対策	4	4	利用者のニーズを把握し、概ね実現対策が図られている。
自主事業の実施	3	3	フリーマーケットや大会の開催など、利用者の増加に向けた取り組みがなされている。
地域、他施設との連携	4	4	塩尻市の市民への補助適用など、地域との連携が図られている
施設の運営	4	4	目標を達成することは出来なかったが、安定的な運営に努めている。
個人情報保護に向けた取り組み	5	4	適正に取り組まれている。
防犯、防災の対応 その他、緊急時の対応	5	5	適正に対応されている。
合計	60	59	

※各評価に対する事項については、特記すべき点を記載（採点「5」及び「1」については、必ず評価に対する事項を要す）すること。

採点	評価基準
5	管理運営業務が要求水準、事業計画を上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を確保した。
4	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり又はやや上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を行った。
3	概ね要求水準、事業計画のとりの管理運営を行った。
2	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり行われており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供が提供されることが見込まれるものの、一部遅滞や不履行がみられ、簡易な改善を要する。
1	管理運営業務が要求水準、事業計画を下回るなど、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供に改善が図られず、次年度に早急な改善等を図る必要がある。

・ 出納状況 (4点)

出納状況	はい	いいえ
決算について、各項目の収入額は適正である。	1	
〃、各項目の支出額は適正である。	1	
〃、必要な業務を行わずに余剰金が生じた項目はない。	1	
指定管理経費は、法人本体の経理とは明確に区別して管理された。 複数施設を一括管理している場合、1施設ごとに予算・決算が示された。	1	
合計点	4	

・ 事務事業評価 (10点)

↑ 増、↓ 減、→ 現状維持

▼ より選択

施設の利用状況	チェック	採点
施設稼働率	→	1
年間利用者数、件数	↑	2
1日あたり利用者数、件数	↑	2
施設使用料年間収入額	↑	2
活動一単位あたりコスト	↑	2
合計点		9

有効性評価	高い
-------	----

増	: 2点
維持	: 1点
減	: 0点

・ 評価する事項

・ これまで培ってきた専門的な知識やノウハウを活かす中で、岡谷市のスケートのまちづくりの中心的役割を担うとともに、安定的な施設の管理運営に努めた。
 ・ 施設の老朽化や水光熱費等の単価変動が著しい中で、電気料金のデマンド監視や施設の効率的な管理運営により、水光熱費等の経費縮減に努めた。
 ・ リンク監視員を適正配置し、施設利用者の安全確保に努めるとともに、ライブカメラで利用者がリンクの使用状況を確認できるようになったこと、また初心者向けの補助具(スケートマスター)の貸し出しをファミリースケートデー以外にも土日祝祭日に実施し、利用者のサービス向上に努めた。
 ・ 塩尻市による小中学生滑走料負担制度により、施設利用者の増加を図るとともに、地域のスケート振興に努めた。
 ・ ファミリースケートデーや自主事業の大会をはじめとする各種イベントを開催し、利用者の増加や市民のスケート振興を図った。

・ 改善が必要だと考える事項

・ 総体的にスケート人口が減少している中で、各種イベントや自主事業の充実を目指し、更なるスケート振興及び底辺拡大に努める必要がある。
 ・ 天候不順等による休場時間の短縮。
 ・ 施設の老朽化に伴い、日々の細やかな点検業務を実施し修繕箇所の早期発見に努め、小規模修繕による対応を促進し、施設維持管理経費の削減を図る必要がある。

・ 事業計画書の提案事項のうち未実施の項目

未実施の項目	特になし
未実施の理由	

・ 3つの選定基準による評価 (16点)

▼より選択

3つの選定基準	評価項目	評価	点数
1 平等利用の確保	利用者ニーズへの対応の積極性、苦情処理の充実度	普通	1
	平等利用の確保対策の充実度	高い	2
2 施設の有効利用及び経費の節減	施設利用状況の向上度 (利用者数・件数、使用料収入)	高い	2
	岡谷市のまちづくりに対する貢献度	高い	2
	経営ノウハウの活用度	普通	1
	管理・運営コストの抑制度	高い	2
3 管理の安定性	管理・運営体制の安定度	高い	2
	施設・設備の安全度、安全確保対策の充実度	高い	2
		合計点	14

●総合評価

特に優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	適正な管理運営が行われており、更なる向上が求められる	管理・運営方法の改善が必要である	管理・運営方法の抜本的な改善が必要である
90点以上	89-70点	69-50点	49-30点	29点以下
S	A	B	C	D
	○			

平成30年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	3	岡谷市やまびこ国際スケートセンター	
指定管理者	名称	(株)やまびこスケートの森	指定期間	H28.4.1~H33.3.31
料金形態	形態	指定管理料	指定管理料	77,136,000 円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施			
施設担当課	スポーツ振興課			

1 施設の利用状況

*①は貸館施設のみ対象 *②・③はどちらかの欄に記入 *

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数(日)	85	88	87	86
1日の開設時間(時間)	13	13	13	13
年間利用可能時間(時間)	1,105	1,144	1,131	1,118
年間利用実績(時間)	1,105	1,144	1,131	
② 年間利用者数(人)	26,493	26,238	26,574	26,574
有料利用者数	10,299	12,731	13,656	13,656
無料利用者数	12,458	11,289	10,799	10,799
減免措置者数	3,736	2,218	2,119	2,119
③ 年間利用件数(件)	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	311.7	298.2	305.4	309.0
⑤ 施設利用状況の説明				

2 コストの推移

*この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位:円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	84,524,965	85,362,350	85,610,761	84,481,000
経常経費	80,427,445	79,677,230	81,513,241	80,381,000
臨時的経費	4,097,520	5,685,120	4,097,520	4,100,000
*臨時的経費の説明	冷凍機エンジン修繕			

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	640,000	640,000	640,000	640,000
正規職員の人数(人)	0.08	0.08	0.08	0.08
③ 合計コスト(①+②)	85,164,965	86,002,350	86,250,761	85,121,000
前年度比		101.0%	100.3%	98.7%
財源内訳				
一般財源	78,118,698	78,149,047	78,347,562	75,087,000
特定財源	7,046,267	7,853,303	7,903,199	10,034,000
*特定財源の説明	施設使用料、財産使用料			
④ 施設使用料年間収入額	5,742,775.00	6,694,335.00	6,773,175.00	8,884,000.00
⑤ 年間減免措置額	1,070,430.00	823,960.00	1,191,180.00	1,191,180.00
⑥ 受益者負担割合	8.1%	8.8%	9.3%	11.9%
⑦ 活動一単位あたりコスト	3,060	3,061	3,091	
前年度比		100.0%	101.0%	
⑧ コストに関する補足説明				

3 大規模修繕の予定

内容	円	予定時期
予定事業費		

4 施設の維持管理コスト

1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
需用費		4,097,520	4,097,520	冷凍機エンジン修繕
役務費	238,211		238,211	保険料
委託料	77,136,000		77,136,000	指定管理料
使用料及び賃借料	4,139,030		4,139,030	土地借上料
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	81,513,241	4,097,520	85,610,761	

2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.08		0.08
合計	640,000	0	640,000

人
円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
施設使用料	6,773,175		6,773,175	施設使用料
財産使用料	1,130,024		1,130,024	トレーニングルーム等
			0	
			0	
			0	
合計	7,903,199	0	7,903,199	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	74,250,042	4,097,520	78,347,562